

2020 年度 研究者交流支援制度実施報告書

招聘責任者：理工学部 専任教授 樋山恭助

招聘者

氏名：Dr. Acharawan Chutarat

所属：King Mongkut's University of Technology Thonburi, Thailand

期間：2022 年 12 月 3 日～12 月 13 日

講演会 演題：Lessons Learned from ARCASIA Architectural Design Approaches Towards Sustainable and Resilience

日時：12 月 7 日（水）15:30～17:00 場所：生田キャンパス第二校舎 A 館 A416 教室

聴講者：計 20 名（教員 1 名、博士研究員 1 名、院生・学生 18 名）

実施報告：

研究交流の成果

招聘者となる Dr. Acharawan Chutarat は、タイのキングモンクット工科大学トンプリー校の School of Architecture & Design (建築学科) において、Chairman of Architecture Program を務める。また、ARCASIA (The Architects Regional Council Asia アジア建築家評議会) においても積極的に活動を展開する等、アジアにおける建築業界をけん引する研究者となる。SDGs やカーボンニュートラルといった国際的な目標達成に向け、近い将来には著しい人口増加と経済成長が見込まれる東南アジアにおける動向が注目されている中、日本の建築業界において培われた技術の世界への展開が期待されている。この世界的な期待に対して本学が貢献できる方策を検討すべく、東南アジアにおける建築業界の動向に関してヒアリングを行うほか、この目的に向けた相互交流と協働に向けた方針を議論した。特に建築物室内の快適性に加え、心身の健康性を伴うウェルネスを志向した建築設計の評価方法に関して、双方での研究方針に関する共通点を見出し、今後の共同研究に向けた意識共有を得た。本招聘期間終了直後、2022/12/23 には招聘責任者が招聘者の所属大学が主催するウェビナーで招待講演およびディスカッションに参加する等、その交流は始動している。なお、本招聘は当初 2020 年度に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い延期されていたものを、2022 年度に実現したものとなる。

講演会

Lessons Learned from ARCASIA Architectural Design Approaches Towards Sustainable and Resilience と題した講演会を実施した。招聘者が活動拠点とする ARCASIA が集積する情報を基に、以下の 4 つのテーマに分けた講演がなされた。

Pillar1: Traditional Design (伝統的デザイン)

Pillar2: Contemporary design (現代デザイン)

Pillar3: Resilience (レジリエンス)

Pillar4: Green Atmosphere (建築物周りの緑化)

講演は英語によりなされたが、建築事例の紹介を交えた聴講者の理解が促進される話題構成となっていたことで、英語に苦手を感じる学生にとっても、分かり易い講演となっていた。コロナ禍により海外との交流が制限されてきた中で、参加者にとっては海外の動向に関する情報を得るほか、国際的な学びの雰囲気に触れることのできた貴重な機会となった。



講演会の様子 (2022/12/7)

以上